

高齢者新型コロナウイルス感染症予防接種説明書【接種前にご一読ください】

1. 新型コロナウイルス感染症とは

ウイルスを含む飛沫やエアロゾル(ウイルスを含んだ小さな水分)を吸い込んだり、ウイルスを含む飛沫が口、鼻、目などの露出した粘膜に付着することで感染します。主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状であり、頭痛、下痢、結膜炎、嗅覚障害、味覚障害を呈する場合があります。高齢者及び基礎疾患を持つ方においては、重症化するリスクが一定程度あると考えられています。

2. 新型コロナウイルス感染症予防接種を受けることができない方

- ・接種当日、37.5 度以上の発熱がある方
- ・重篤な急性疾患にかかっている方
- ・ワクチンの成分に対し、アナフィラキシーなど重度の過敏症状※の既往のある方

※アナフィラキシーや、全身性の皮膚・粘膜症状、喘鳴、呼吸困難、頻脈、血圧低下等、アナフィラキシーを疑わせる複数の症状。

3. 新型コロナウイルス感染症予防接種を受ける前に主治医と相談が必要な方

- ・過去に免疫不全の診断を受けた方、近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ・心臓、腎臓、肝臓、血液疾患などの基礎疾患のある方
- ・過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた方
- ・過去にけいれんを起こしたことがある方
- ・ワクチンの成分に対して、アレルギーを起こすおそれがある方
- ・抗凝固療法を受けている方や血小板減少症または凝固障害のある方は、接種後の出血に注意が必要とされています。

4. 新型コロナウイルス感染症予防接種の副反応について

主な副反応として、接種後に注射した部位の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢、発熱等がみられることがあります。こうした症状の大部分は、接種後数日以内に回復しています。稀な頻度でアナフィラキシー(急性のアレルギー反応)が発生したことが報告されています。

もし、アナフィラキシーが起きたときは、医療機関ですぐに治療を受けてください。

厚生労働省では、ワクチン接種後の副反応疑い報告の状況や健康状況に係る調査の結果について公表しており、新型コロナワクチンの安全性については審議会での評価を踏まえ、特段の懸念はないものと考えられています。

5. 新型コロナウイルス感染症予防接種を受けた後の注意点

- ・接種後 30 分間は、ショック、アナフィラキシー様症状等の急な副反応が起こる可能性があります。なるべく安静にし、医療機関とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。
- ・接種当日は、激しい運動や多量の飲酒は控えてください。
- ・接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射部位を強くこすらないようにしましょう。

6. 予防接種健康被害救済制度について

予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。窓口は医療保健課です。